

研究 並びに普及の第一人者

瑞宝中綬章(教育研究功勞) 平成27年4月受章

早稲田大学名誉教授／東京電機大学客員教授／
日本実用英語学会会長

學歷

昭和27年3月25日 千葉県立木更津高等学校 卒業
昭和32年3月25日 早稲田大学教育学部英語英文科 卒業
昭和37年4月 1日 明治大学大学院修士課程文学研究科英米文学
専攻 入学
昭和39年3月25日 明治大学大学院修士課程文学研究科英米文学
専攻 修了
平成14年6月25日 教育学博士の学位授与(早稲田大学)

職歷

昭和32年4月1日～昭和38年8月31日 丸善株式会社(輸出部・機械部)
昭和38年9月1日～昭和40年3月31日 京北学園京北高等学校 教諭
昭和40年4月1日～昭和41年3月31日 武蔵工業大学 専任講師
昭和41年4月1日～昭和43年3月31日 工学院大学 専任講師
昭和43年4月1日～昭和44年3月31日 工学院大学 助教授
昭和44年4月1日～昭和46年3月31日 早稲田大学 第一・二商学部
専任講師
昭和46年4月1日～昭和51年3月31日 早稲田大学 第一・二商学部
助教授(昭和48年4月より
「商学部」名称変更)
昭和51年4月 1日～平成16年3月31日 早稲田大学 商学部 教授
平成16年3月31日 早稲田大学を定年により退職
平成16年4月 1日～現在 早稲田大学 名誉教授
平成22年4月 1日～現在 東京電機大学 客員教授

ました。私は、中学入学となつたのでした。そしてバレーボール部に入り、身長博で屈強な体格を活かし主力選手としてチームを引っ張り、部長を務めました。そして、チームをまとめる上で、稲田に「中学教員専英英語文科学科」に入学し、二十四年新制大学移行と同時に私学最初の教育学部として設

お世話になり、同時に中西秀男教授で、以後長年にわたりご指導頂き、後に科学技術英語の研究に進むことを勧めたのも中西先生でした。

昭和八年、千葉県君津郡小櫃村（現君津市）に生を受けた私は、同年十一月県立東津中学校に入学し、同第一高等学校に進学しました。県内有数の伝統校ながら自由を重んじる校風、生徒はのびのびと勉学と部活動に励み、将来への夢を膨らませ学校生活を謳歌しました。この経験が、その後昭和八年、千葉県君津郡富貴の個性を大切に育て、誰かが持てる力を発揮出来るよう、練習の合間をぬぐコミュニケーションを図りました。

現か多く、迅速さ、正確さが求められる実務において無用であることに気づいたのです。「これだ。本物の英語に出会えた。これを研究テーマにしよう」と感動する覚えたのでした。そして「実用英語研究」の道に進むきっかけを与えてくれたのが新島道弘教授で、ゼミで

大学で「実用英語」を専攻



コミュニケーションカラーのオレンジのベストを
身につけ自宅にて

置され、多様なカリキュラムが提供される中で、私が、いの一番に興味を覚えたのが「実用英語」でした。その名の通り、専ら仕事上のいろいろな場面で用いられ、専門用語や定型的言い回しを用い、丁寧・簡潔・論理的でわかりやすい表現を基本とします。そこで私は次の気付きを得ました。それまで仕事で使われていた英文は、要件と無関係な要素、あるいは不

研究・教育の道を貫く

研究 教育の道を貫く

四年間みづちり英語表
現の基礎を修得、その実
用化・指導法を研究。デ
マに研鑽を積み、卒業を
迎えました。そして昭和
三十一年丸善株式会社
に入社し、輸出部に所属
日本商品輸出の仕事に
従事しました。

程文学部研究科英文学専
攻に入学したの、研究成
果をコンパクトにまとめ
て『工業英語業務便覧』
を出版しました。その序
文が「今日の産業人がな
おさるべきないこのの
一つに、日々進歩する工

明治二年開業の同社
は、西洋の文化や知識を
業界の世界的交流があ
ることで、このように

国内外で幅広く指導

博士号授与

博士号授与

楊に抱かれ、洋書や字術書の輪転販売に力を入れておりました。私は、大学四年間で研究したテーマを、仕事を通じてさらに深堀りできる環境を求めたので進路選択でした。

そして数年が経過、新設の機械部に所属が変わりました。そこでは、米軍基地やアメリカ大使館生に喜びを語る「転動勤勞令が出され」、中西先

昭和三十一年 明治
 大学大学院修士課程を
 修了。翌年、「武蔵工業
 大学専任講師」として迎
 えられました。さらにそ
 の翌年には、「工学院大
 学専任講師」、「武蔵工業大
 学非常勤講師」になら
 びに「東京経済大学非常
 勤講師」と活動範囲が徐
 に拡大。その後の進展の
 たない分野であることと
 なり、同四十四年

商入多かり印象的でした。
 りまた「理化学部」「教育学部」「社会科学部」「政治経済学部」の兼担となり、愛護生は、氣に増えました。そして昭和十一年「商部教授に就任した。その後一貫して「ビジネス英語」「科学技術英語」「英文テクニカル・ライティング」後、同大学招請教授として渡米、ミシガン大学では「イングリッシュ・テクニカル・コミュニケーション」を学修しました。当時、同大学の英語教育は有名で、多くの知見を享受、その後の私の行動の指針となりました。そして数年

を訪れ、米国の英文タイプライターと電動計算機に注文を取り、免税で輸入して納品するのが主な仕事した。後に、電子計算機（現コンピュータ）を輸入する仕事に転職した。校教師の職もつづけた。

端緒となりました。この言うまでもなく、成功
ように工業技術・経済分 勝ち取る上でビジネス
野を専門とする大学にお 語の修得が不可欠で
いても、有意な人材養成 のこうした事情から
の一環として「英語力」 私の講義は、大教室から
バル化」に対応した英語 生でいっけいになり、答
力」の修得が不可欠との

を「グ」を主な研究分野と
英し、内容進化させ、普
及に邁進しました。

このように多忙を極め
る日々で、たが、急進展
を遂げる同分野の研究の

て再び渡米、「テクニカ
ル・コミュニケーション
セミナーでの指導を経験
するなど、研鑽を深めま
した。

母校での勤務は次々と
広がり、学生担当、教務

学校技術関連の英文の読み書きする力を磨き、時事英語研究月刊誌に、毎月2年以上にわたって「電子計算機に用いられる英語」を連載させて頂きました。当時、国内企業が立ち遅れないように、自分の研究成果をまとも世間に問ひかけようとの思いから、次なる行動に移りました。それは同3年7月、勤務の傍ら、会社の許可を得て、近くの明治大学大学院修士課程

inoda gets
zenship

Teacher mentors in
inquisitive and creative
systems.

the methodology of
teaching English tech-
nology. The program
of Waseda, one of the few
schools in Japan to use
an English technical
medium on English in-
struction.

He has conducted a busi-
ness course on English in
Japan, and has been a
member of the Japanese
Association of Learning
Technologies.

In Japan, companies us-
ing technical writing in
English is indispensable for
international business. It
is a skill that is in great
demand, and many com-
panies do it with enthusi-
asm.

Teachers are often obli-
gated to attend the meet-
ings of the association. In
this regard, the association
shows great example for
other organizations. It
provides technical docu-
mentary materials and
other materials for check-
ing the quality of "tech-
nical writing." Some
are adequate and some
are not.

アメリカミシガン州アーナーバーの市長から
「名譽市民」の称号を授け

Maynard H. Shandon, left, of Ann Arbor, Michigan, is
presenting the awarding of honorary citizenship to
Professor Yoshiaki Shiono of Waseda University.

"Accurately" is also ambigu-
ous. It should be used in
places of plus minus 3 seconds
for three months, or within a
second for three months.

On his history class, Shiono
said he was greatly ap-
preciated the friendship of people
in Ann Arbor—people that
he had met in his first high
school teacher seminar last
year. He said he was very
impressed by the way the
restaurants in this small city
were run. He said he was
impressed by the way the
shops at a time in a U.S.
city were run. He said he
was very impressed by the
level of education in U.S.
and Japanese universities.

After a lecture, a typical
American teacher would
speak out on their experi-
ence of 30 students in a
class.

Over four or five years ago,
Shiono was invited to visit
at American universities, had no
idea of what to expect. He
then they returned to English
convention schools, where
Shiono was very impressed.
English was not good enough
to be a teacher.

He has earned a lot of
new ways to teach. He has
compared Japanese teachers
with American teachers. He
has been very impressed by
the way they teach.

They have to teach computer
skills to beginning class-

連絡が、りやむなく退
社を決心しました。そし
て京北の國京北高等学校
に職、こちで約年
半、英語教えました。

「商業の非常勤講師
部」と第一

は、昭和三十年に「第
一」

早稲田大学ミシガン夏期セミナー出席者と

「産業経営研究所所兼任研究員」、「大学院理工学研究科兼任」、「同教育学研究科兼任」などを務めました。さらに学外にあっては、「郵政省郵政大学校講師」、「法政大学工学部大学院非常勤講師」、「島根県立大学非常勤講師」を数年から十数年間務めるなど、国内各地に足を運び、普及に努めました。また産業界では海外進出で牽引役となつた「下呂自動車」の「目

[illegible]

日 務 課 工 部 控 不 ！ 密 密 密 工 日



ペンパルとの記念の一枚。真中が私

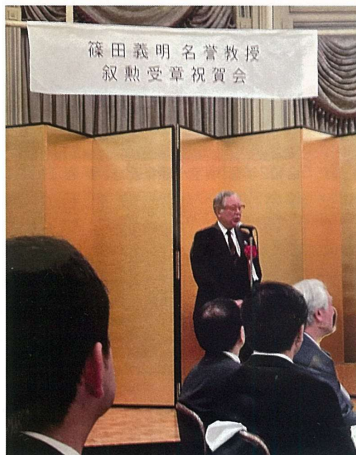
輝き続ける

叙勲受章者

「テクニカル・ライティング」

篠田 義明(しのだ よしあき) 東京都小平市

産、「日立」、「ソニー」、「東芝」、「NEC」、「デッソン」、「武田薬品」、「大日本印刷」、「航空各社」、さらに「IBM」など百社以上の企業から依頼を受け、社員教育に携わりました。さらに台湾、韓国からも要請され、「サムスン」などの大手企業に講師として出向き、英語もしくは日本語、その両方の論理構成を中心とした社員教育を行いました。こうした社会の動向に国の機関も関心を示し、「参議院」、「総務省」からの要請を受け、講義しました。



叙勲受章祝賀会にて



叙勲受章祝賀会で、近所の友達夫妻のご子女と

以上を通り、多年にわたり、母校を基盤に大学、企業、その他機関にて指導しつつ、研究成果を積み重ね、同十六年定年退職しました。そして退職して半年後、「東京電機大学非常勤講師」に迎えられる、平成二十三年、同客員教授となり、現在も続いております。また「東京大学大学院総合文化研究科非常勤講師」を五年にわたり務めました。さらに「東京医科歯科大学講師」も同様に二年間務めました。



故郷の寺へ梵鐘を寄贈

長年お世話になった母校への寄附

私の専門分野は、前述の語法「工業英語の実際」を相次いで著し、中法的特徴を包括的・体系的にまとめた国内最初の書物として注目を集めました。その間、「ミシガン大学」での夏期セミナーで指導した機に語法から「文章レトリック」効果を狙った完結な表現の意へト視点移し、それを中心とした「テクニカル・ライティング」の指導法の確立を目指しました。ミシガン大学で得た理論や方法を参考に、研究結果を可能な限り注ぎ込み、我がライティング・ライティングを立案・実施し、毎夏学生を

前述の通り、多くの学生を引き受けながら、外教育を引き受けながら、早稲田大学の複数学部で教鞭をとり、大学院生の指導にも携わりました。それだけでなく大学が研究成果を社会に開放する機関として設置した「エクステンションセンター」の管理委員となり、その後早稲田大学理工学研究所・修士学生を引率してミシガン大学に

多様な教育研究チャネルの開拓

「テクニカル・ライティング」の追求

「日立」、「ソニー」、「東芝」、「NEC」、「デッソン」、「武田薬品」、「大日本印刷」、「航空各社」、さらに「IBM」など百社以上の企業から依頼を受け、社員教育に携わりました。さらに台湾、韓国からも要請され、「サムスン」などの大手企業に講師として出向き、英語もしくは日本語、その両方の論理構成を中心とした社員教育を行いました。こうした社会の動向に国の機関も関心を示し、「参議院」、「総務省」からの要請を受け、講義しました。

私の専門分野は、前述の語法「工業英語の実際」を相次いで著し、中法的特徴を包括的・体系的にまとめた国内最初の書物として注目を集めました。その間、「ミシガン大学」での夏期セミナーで指導した機に語法から「文章レトリック」効果を狙った完結な表現の意へト視点移し、それを中心とした「テクニカル・ライティング」の指導法の確立を目指しました。ミシガン大学で得た理論や方法を参考に、研究結果を可能な限り注ぎ込み、我がライティング・ライティングを立案・実施し、毎夏学生を

多様な教育研究チャネルの開拓

「テクニカル・ライティング」の追求

「テクニカル・ライティング」の追求



叙勲受章伝達式(平成27年)



叙勲時、末の妹と共に

いきました。同五十年代半ばに、「テクニカル・イングリッシュ」理論と展開「科学技術英文のレトリック」を出版するにあたり、「日本テクニカル・コミュニケーション・ビジネス英語活用協会」を設立し会長に就任。科学技術英語の検定試験「TEPテスト」を開始したのです。日々実用英語学会の会長に就任し、役立つ英語の研究・教育・実践の先頭に立ち、普及に努めました。この努力が実を結び、平成七年、米国「ミシガン大学」に長年にわたる功績に對して「名誉市民」の称号を授けられました。同十四年に発表した「日本の学習者に対するテクニカル・ライティングの指導法をまとめた論文」が、早稲田大学の複数学部で教鞭をとり、大学院生の指導にも携わりました。それだけでなく大学が研究成果を社会に開放する機関として設置した「エクステンションセンター」の管理委員となり、その後早稲田大学理工学研究所・修士学生を引率してミシガン大学に



我が家にて(左手:弟夫妻、右手前:私、奥:妻)



喜寿祝賀会

「テクニカル・ライティング」の追求